

現場代理人の皆様

2018年3月9日（金曜）11時35分
住宅建設課が設計・工事監理をする工事現場で
1件の重大な事故・災害が発生しました。



1 件の重大な事故・災害

1

29

29 件の軽微な事故・災害

300

300 件のヒヤリ・ハット

不安安全行動・不安安全状態

重傷以上の災害が1件あったら、その背後には、29件の軽傷を伴う災害が
起こり、さらにその背後に300件ものヒヤリ・ハット事例があるというのが、「ハ
インリッヒの法則」です。この法則は「1:29:300の法則」とも呼ばれています。

平成29（2017）年度、市営住宅の工事現場では7件の軽微な事故が
立て続けに発生し、そして、平成30年3月9日に1件の重大な事故が発生
しました。



重大な事故は決して突然に起こるものではなく、1件の重大事故が起こるまでに、
300もの小さな予兆（ヒヤリ・ハット）の積み重ねがあります。

300件のヒヤリ・ハットの背景には、多くの「不安全行動」や「不安全な状態」が
あります。

「これくらいは大丈夫だろう」「面倒くさい」「皆がやっているから」

「早く終わらせるためにはしかたがない」「いつも問題ないから大丈夫」

「自分が事故を起こすはずはない」

このような不安全行動に対する予防措置をとれば、労働災害の98%は防げると
ハインリッヒ氏は説いています。

安全管理の第一歩は、危険なものを危険であると認識する感覚を高めること
です。また、安全教育は教えたつもりでいても、教えた内容が現場の作業者に
伝わっていなければ意味がありません。教えた内容を日常的に実践させ、不安全
行動に気づいたらすぐに是正することが必要です。

見えない危険性を

予測する力と、準備する行動力で

災害防止と危険回避を

平成30（2018）年4月

神戸市住宅都市局住宅部住宅建設課長

設備担当課長